故障かな？と思ったら

テレビが映らない	□ 電源コードまたはカーバッテリーコードがはずれていませんか？ □ テレビ本体の主電源は入っていますか？
画像は出るが、音が出ない	□ 音量が下がり切っていませんか？ □ ヘッドホンをつないでいませんか？ □ 画面に「ミュート」の表示が出ていませんか？
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	「テレビを見る」の「画質を調整する」にしたがって画質を調整してください。
画像が二重、三重になる	□ アンテナ線がはずれかかっていませんか？ □ 山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。アンテナの位置、角度、高さを調整してください。 □ 突然画像が二重、三重になった場合はお買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風が吹くとちらつく	□ アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ □ アンテナの寿命ではありませんか？通常2~3年、海辺では1~2年です。 □ アンテナ線がはずれていませんか？
はん点や点模様が走る	ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。アンテナはなるべく道路から離してください。
特定のチャンネルだけが映らない	チャンネルを合わせ直してみてください。
ビデオの画像・音が出ない	□ 接続コードがはずれていませんか。 □ リモコンまたはテレビ前面の入力切換ボタンを押してみてください。
リモコンで操作できない	□ リモコンの電池が消耗していませんか？ □ テレビ本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていませんか？
キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る	周囲の温度変化でキャビネットが伸縮すると「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。
カーバッテリーで正常に動作しない	バッテリーの電圧が低下した場合、画像が乱れることがありますのでエンジンをかけてご使用ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを	「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。
それでも具合が悪いときはサービス窓口へ	お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は	保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-10PR1

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ日などを記入しておくと、修理の依頼のときなどに便利です。

お買い上げ店
TEL.
お近くのサービスステーション
TEL.

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ……………………… 0466-31-2595
受付時間：月~金 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00
お電話は自動音声応答にておつなぎしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Japan

各部のなまえ

本体のボタンはリモコンの（同じなまえの）ボタンと同じ働きをします。

リモコン

1. 画面表示ボタン
2. 消音（ミュート）ボタン
3. 入力切換ボタン
4. チャンネル数字ボタン
5. 音量＋／－ボタン
6. メニュー操作ボタン
   メニューボタン
   選択＋／－ボタン
   決定ボタン
7. チャンネル＋／－ボタン
8. 電源ボタン

前面

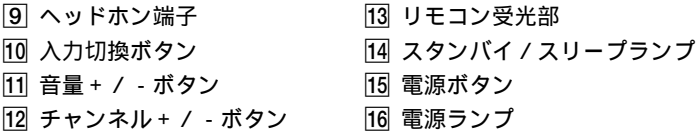
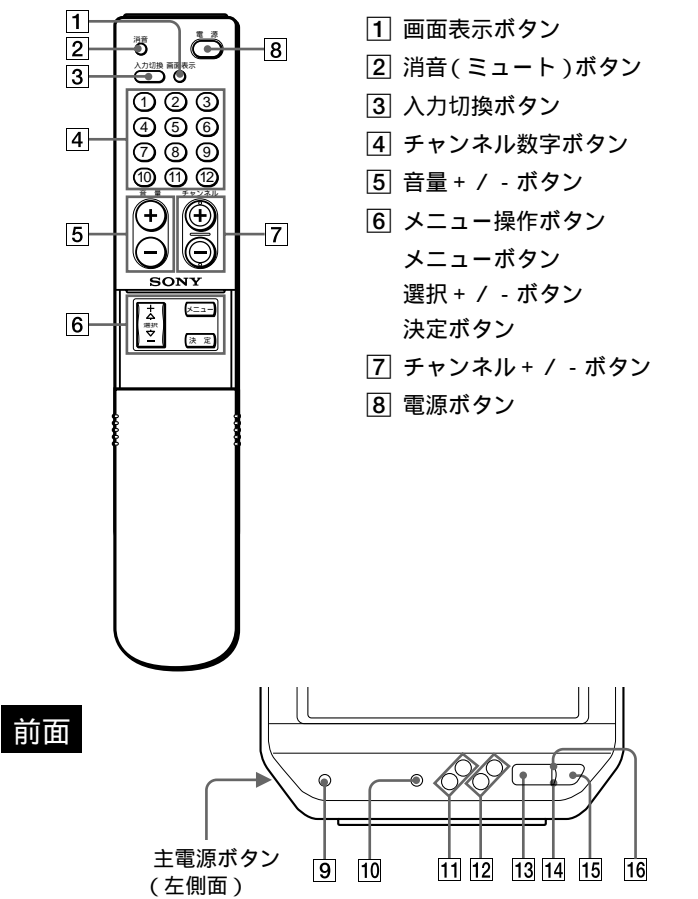
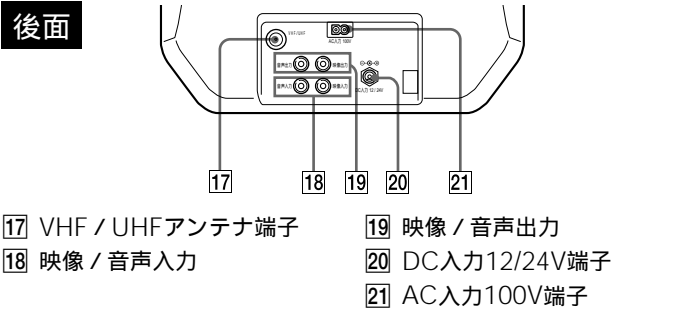
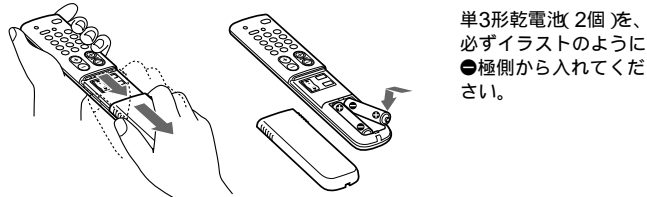
主電源ボタン（左側面）

9. ヘッドホン端子
10. 入力切換ボタン
11. 音量＋／－ボタン
12. チャンネル＋／－ボタン
13. リモコン受光部
14. スタンバイ／スリープランプ
15. 電源ボタン
16. 電源ランプ

後面

17. VHF／UHFアンテナ端子
18. 映像／音声入力
19. 映像／音声出力
20. DC入力12/24V端子
21. AC入力100V端子

リモコン電池の入れかた

単3形乾電池(2個)を、必ずイラストのように⊖極側から入れてください。

電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモコン操作が動かなくなり始めたら寿命ですので、新しい電池とお取り換えください。

主な仕様

テレビ

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル UHF 13~62チャンネル
アンテナ端子	VHF/UHF 75Ω F型コネクター
ブラウン管*	10型トリニトロン管 90度偏向
画面寸法	184.5×137.3、227.3 mm（幅×高さ、対角径）

* テレビの型は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

スピーカー	8cm 丸
音声出力	実用最大(EIAJ)：1W
入力端子	映像入力：ピンジャック、1Vp-p、75Ω 音声入力：ピンジャック、500mVrms、47kΩ
出力端子	映像／ダイバーシティ出力：ピンジャック、1Vp-p、75Ω 音声出力：ピンジャック、500mVrms、1kΩ
ヘッドホン端子	ミニジャック（モノラル）／負荷インピーダンス16Ω以上
電源	AC100V、50/60Hz DC 12/24V
消費電力	48W(AC/DC)
年間消費電力量**	79kW・h/年

**年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭の平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。

最大外形寸法	258×265×307 mm（幅×高さ×奥行き）	
質量	約5.9kg	
付属品	リモートコマンダーRM-J143	(1)
	単3形乾電池	(2)
	AC電源コード	(1)
	ロッドアンテナ	(1)
	アンテナコネクター	(1)
	取扱説明書	(1)
	安全のために	(1)
	ソニーご相談窓口のご案内	(1)
	保証書	(1)
	安全点検のおすすめ	(1)

別売りアクセサリー

カーバッテリーコード	DCC-22A
車載取付キット	GM-610
モービルTVアンテナ	VCA-110またはVCA-13
ダイバーシティユニット	AND-9000

接続ケーブルなどは「アンテナと電源をつなぐ」をご覧ください。

- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

This television is designed for use in Japan only and is not to be used in any other country.

Sony online http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

SONY

3-810-577-05 (2)

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

KV-10PR1

*1 **主電源ボタンについて**

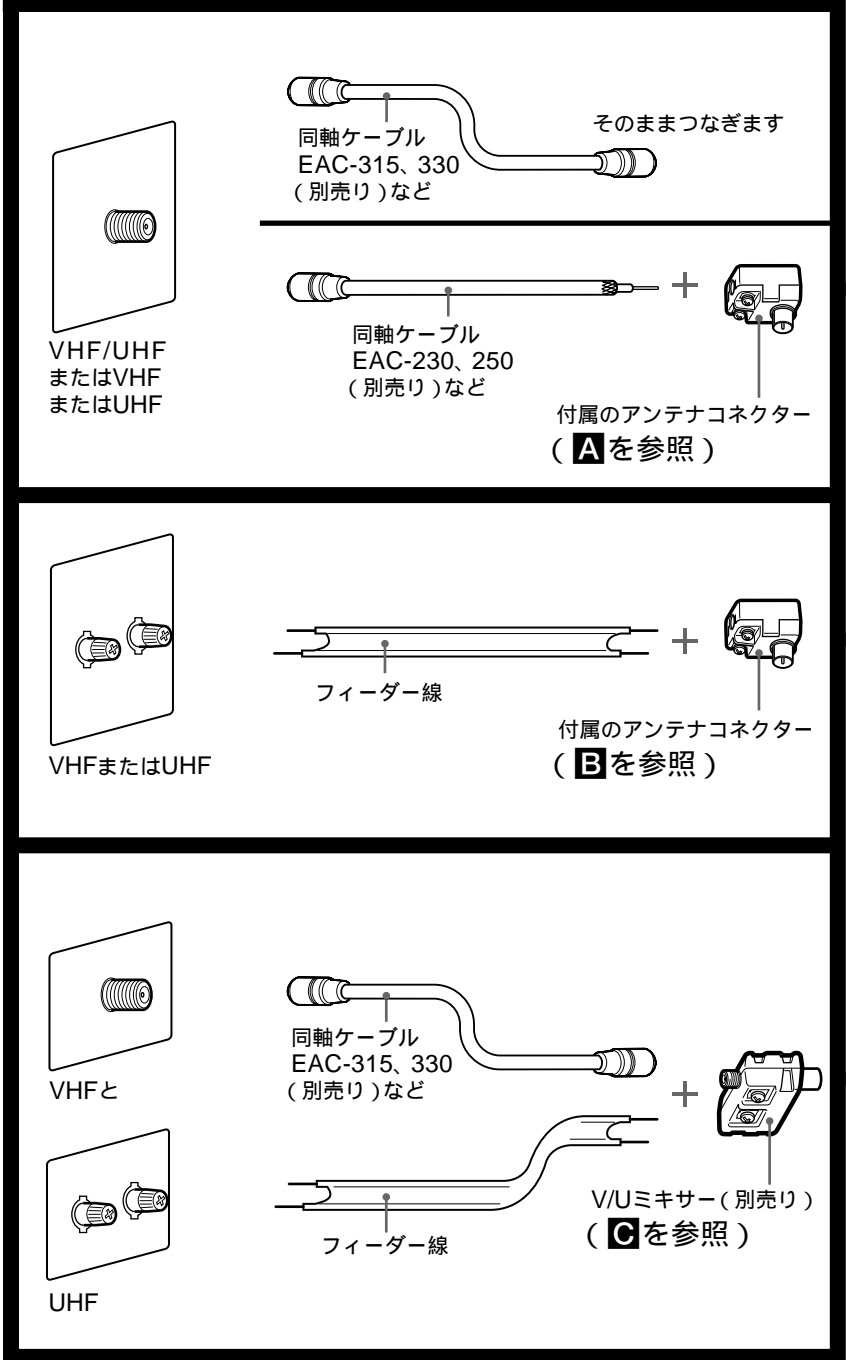
ご家庭の電源でご使用になるときのご注意

本体左側面に主電源ボタンがあります。ご家庭の電源でお使いのときは、このボタンを押して必ず「入」にしてください。前面の赤または緑のランプが点灯します。

アンテナと電源をつなぐ

アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、接続してください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

カーバッテリーで使用するときのご注意

本機は本体左側面の主電源ボタンに関係なくご使用になれますが、本機を使わない場合、カーバッテリーコードをシガーライターソケットに入れたままにしておくとバッテリーあがりの原因になります。

A 同軸ケーブルにアンテナコネクターをつなぐ

1 3C-2Vケーブル*2の場合

折り返す
同軸ケーブル
6　4　10(mm)

5C-2Vケーブル*2の場合

折り返さない
同軸ケーブル
6　4　10(mm)

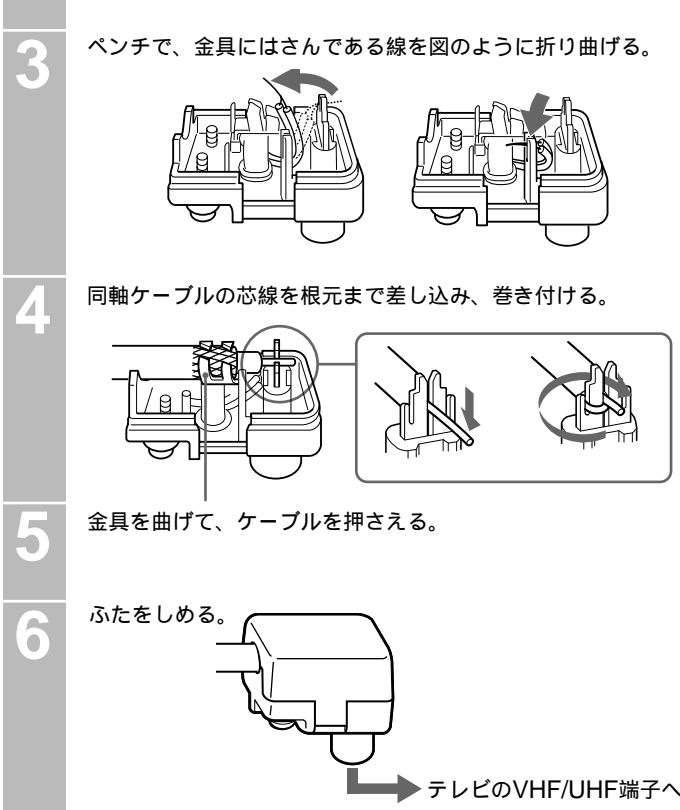
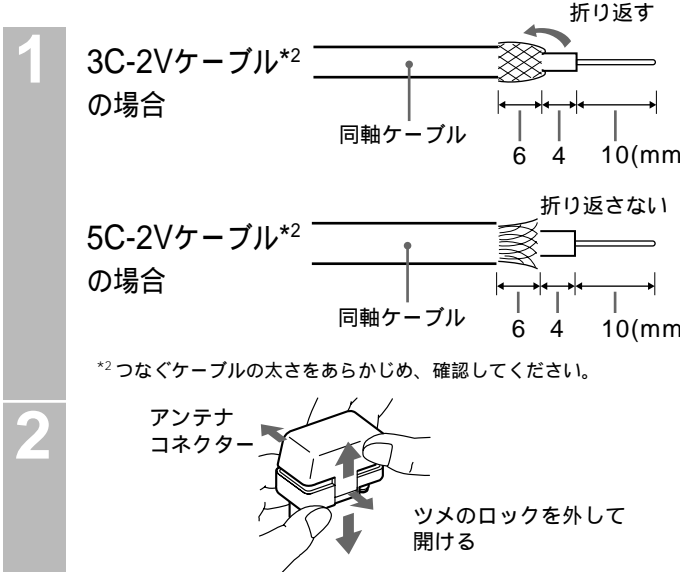
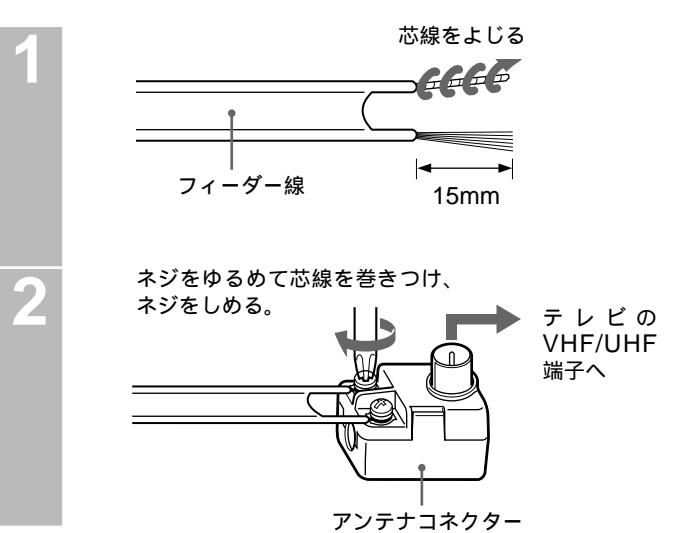
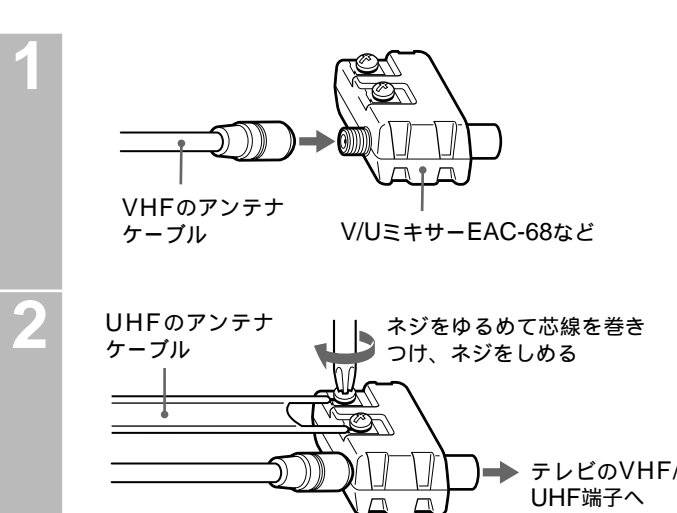
*2 つなぐケーブルの太さをあらかじめ、確認してください。

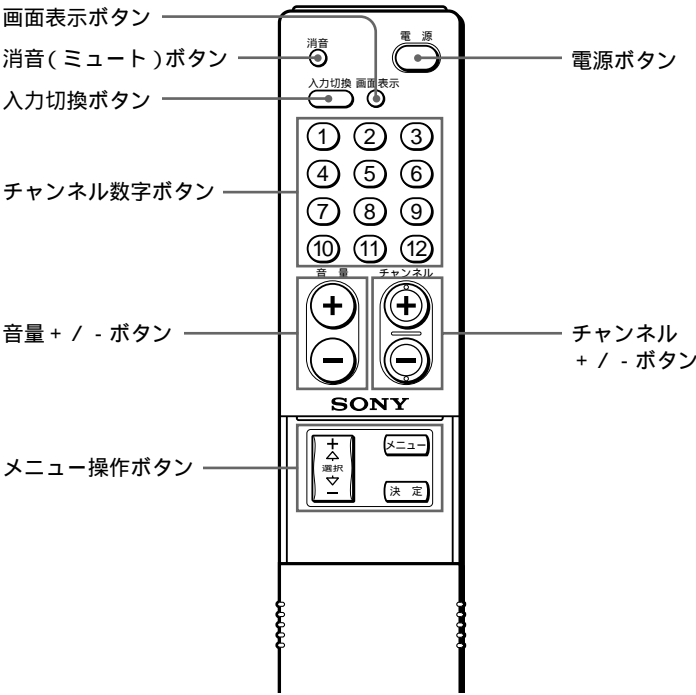
2

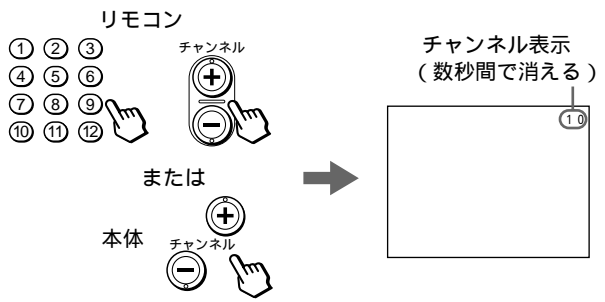
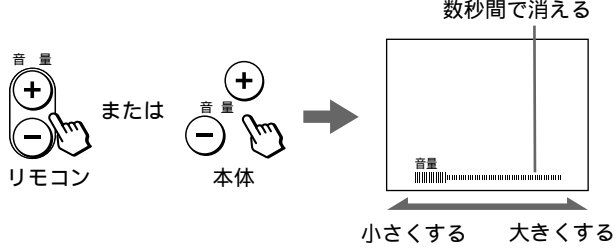
3 ペンチで、金具にはさんである線を図のように折り曲げる。

4 同軸ケーブルの芯線を根元まで差し込み、巻き付ける。

5 金具を曲げて、ケーブルを押さえる。

6 ふたをしめる。

B フィーダー線にアンテナコネクターをつなぐ

C V/Uミキサーをつなぐ

テレビを見る

テレビ本体の赤いスタンバイ／スリープランプが点灯していないときは、本体左側面の主電源ボタンを押します。

1　チャンネルを選ぶ。

リモコンのチャンネル数字ボタン、チャンネル＋／－ボタンまたは本体のチャンネル＋／－ボタンを押します。自動的に電源が入り、選んだチャンネルが映ります。（電源ボタンでも電源が入ります。）

2　音量＋／－ボタンで音量を調整する。

テレビを消すには

本体の電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押す。
画面が消えてスタンバイ／スリープランプが点灯します。

画質を調整する

1　メニューボタンで、メニューを出す。

2　選択＋／－ボタンで、▶を「画質調整」に移動し、決定ボタンを押す。

3　選択＋／－ボタンで、▶を設定する項目に移動し、決定ボタンを押す。

例　明るさを選ぶ場合

調整項目

項目	選択＋ボタンを押すと	選択－ボタンを押すと
ピクチャー	コントラストが強くなり、色が濃くなる	コントラストが弱くなり、色が淡くなる
色あい	緑がかる	赤みがかる
色の濃さ	濃くなる	淡くなる
明るさ	明るくなる	暗くなる

4　選択＋／－ボタンで、画質を調整し、決定ボタンを押す。

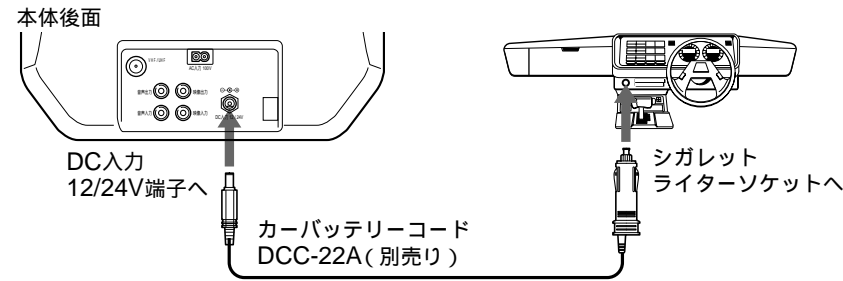
5　手順3～4を繰り返して、他の項目を調整する。

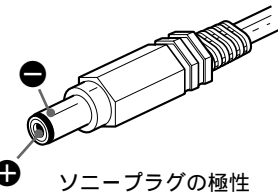
6　メニューボタンで、メニューを消す。

標準について

選択＋／－ボタンを押して▶を「標準」に移動し、決定ボタンを押すとお買い上げ時の設定に戻ります。

車内で見る

カーバッテリーコード（別売り）をつなぎます。

運転者は、走行中に本機を操作したり、画面を見たりしないでください。
交通事故などの原因となります。
禁止

- エンジンをかけずに長時間使用しないでください。
- シガレットライターソケットから電源を供給することができるのは、12V/24VDC車（マイナスアース車）だけです。
- カーバッテリーコードは、必ず指定のものをお使いください。プラグの極性など仕様の異なる製品を使うと、故障の原因になります。

カーバッテリーで使用するときは

本機は本体左側面の主電源ボタンに関係なくご使用になれますが、本機を使わない場合、カーバッテリーコードをシガーライターソケットに入れたままにしておくとバッテリーあがりの原因となります。

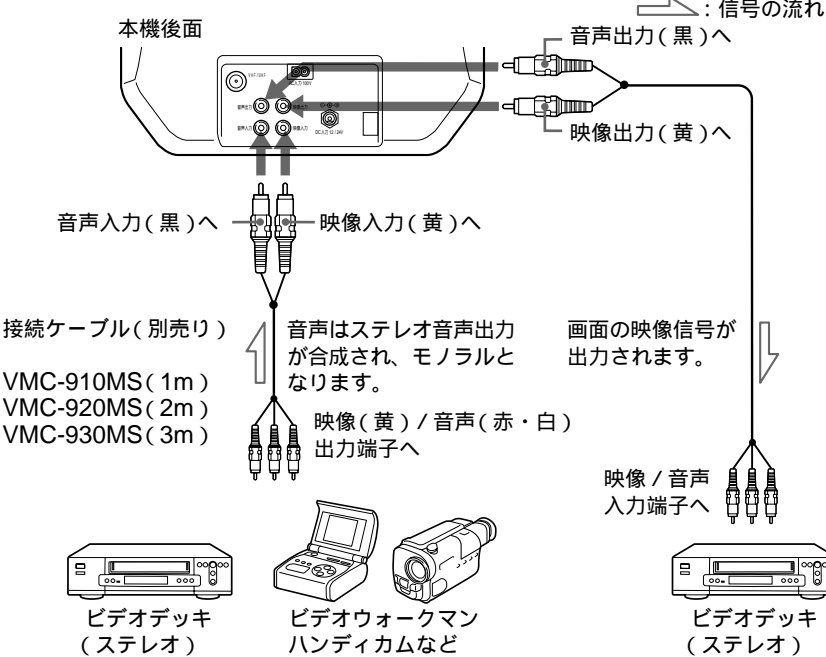
⚠注意

- テレビが落ちたり、倒れたりしないよう、車の中で使うときは、必ず専用の車載取付キットGM-610（別売り）で、固定してお使いください。けがの原因となることがあります。
- 本機を使うときは、風通しのよい場所でお使いください。シャッターを降ろしたガレージの中などで使用すると、排気ガス中毒の症状を起こすことがあります。

ダイバーシティーカーアンテナをつなぐには

自動車の中で最良の電波を受信するためには、ダイバーシティユニットAND-9000とVHF/UHF対応モービルTVアンテナVCA-13などをお使いになることをおすすめします。詳しくは、ダイバーシティユニットおよびモービルTVアンテナの取扱説明書をご覧ください。

他の機器（ビデオなど）とつなぐ

本機に接続したビデオデッキなどの画像を見ることができます。
必ず、電源を切ってからつないでください。

ビデオの画像を見るには

1 ビデオ機器の電源を入れる。
2 本機の入力切換ボタンを押して、画面に「ビデオ」の表示を出す。
3 ビデオ機器でテープを再生する。
テレビの放送に戻すには、もう一度入力切換ボタンを押す。

録画／編集するには

それぞれのビデオ機器で操作する。詳しくは、ビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

ビデオ機器をつなぐときのご注意

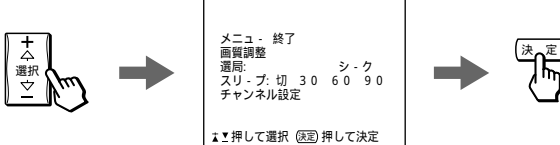
画像が乱れたり、雑音が入る場合はビデオ機器と本機を充分に離してください。

選局方法を切り換える－シーク選局

移動中や旅先で受信できるチャンネルを探すときにシーク選局を使うと便利です。

1　メニューボタンで、メニューを出す。

2　選択＋／－ボタンで、▶を「選局」に移動し、決定ボタンを押す。

3　選択＋／－ボタンで、「シーク」を選び、決定ボタンを押す。

4　メニューボタンで、メニューを消す。

5　チャンネル＋／－ボタンで選局する。

＋を押すと、高い周波数のチャンネルを探します。
－を押すと、低い周波数のチャンネルを探します。

ダイレクト選局に戻すには

手順1～3を行い、「ダイレクト」を選びます。

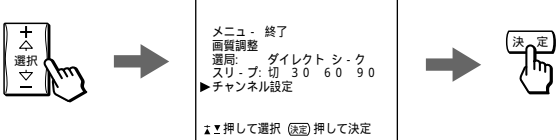
ダイレクト選局とは

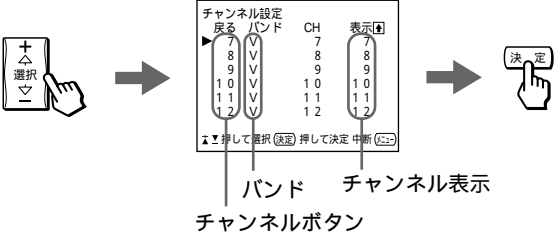
数字ボタンをひとつ押すだけで選局できる方法です。お買い上げ時は、数字ボタンを押すとボタンの数字と同じチャンネルが映るように設定されています。チャンネル＋／－ボタンを押すと①～⑫のチャンネルが順次切り換わるようになっています。UHF放送などは、①～⑫の使わない数字ボタンにチャンネルを設定しておくと、この方法で選局できて便利です。

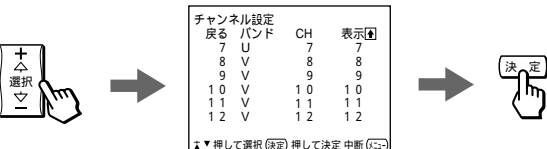
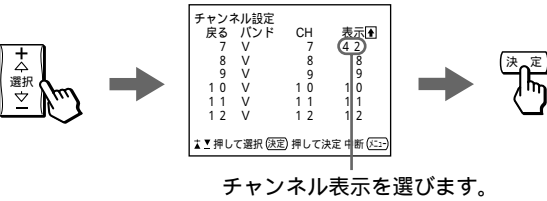
UHFを見る/チャンネルを合わせ直す/放送のないチャンネルをとばす

UHFを見るには、チャンネルボタン①～⑫のうちの空いているボタンに、見たいチャンネルを割り当ててください。例として、⑦に42チャンネルを割り当てます。⑦ボタンを押すと42チャンネルが映るようになります。

1　メニューボタンで、メニューを出す。

2　選択＋／－ボタンで、▶を「チャンネル設定」に移動し、決定ボタンを押す。

3　選択＋／－ボタンで、設定したいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

6より大きい番号に設定したいときは、選択＋／－ボタンの「－」で、▶を6より下に移動します。

4　選択＋／－ボタンで、一番きれいに映るところを探し、決定ボタンを押す。

UHFを選ぶ場合は、実際に放送を受けながら操作してください。

5　選択＋／－ボタンで、書き換えたいチャンネル表示を選び、決定ボタンを押す。

6　手順3～5を繰り返し、ほかの見たいチャンネルを設定する。

7　メニューボタンで、メニューを消す。

放送のないチャンネルをとばすには

手順5でチャンネル表示を「0」にする。
チャンネル＋／－ボタンを押したときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しないこと）ができます。

UHFのチャンネル番号について

地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

便利な機能

音だけを消すには

消音（ミュート）ボタンを押す。
再び音を出すには、消音（ミュート）ボタンを押すか音量＋ボタンを押します。

何チャンネルを見ているかを確認するには

画面表示ボタンを押す。
チャンネル番号の表示を消すためには、もう一度画面表示ボタンを押します。

ヘッドホンで聞くときは

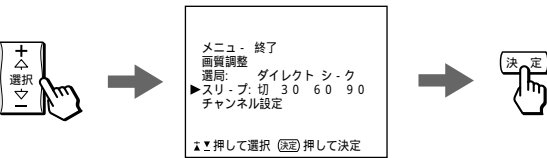
ヘッドホンをテレビの正面左側にあるヘッドホン端子（🎧）につなぐ。（音声はモノラル）

放送が終了すると

テレビがついていると、約10分後に自動的に消えてスタンバイ状態になります。（オートシャットオフ機能）

テレビの消し忘れを防ぐには（スリープ機能）

1　メニューボタンで、メニューを出す。

2　選択＋／－ボタンで、▶を「スリープ」に移動し、決定ボタンを押す。

3　選択＋／－ボタンで、30（30分）、60（60分）、90(90分)のどれかを選び、決定ボタンを押す。

4　メニューボタンで、メニューを消す。

この設定をしておくと、テレビをつけたままおやすみになっても、設定した時間（分）後にテレビは自動的に消えます。